堺リベラル中学校　学校関係者評価報告書

１．実施状況

日時　令和３年１０月１５日（金）午後３時００分から

場所　愛泉学園　会議室

２．委員会構成

香ヶ丘リベルテ高等学校校長	１名
挹泉会（同窓会）会長	１名
愛泉学園評議員	４名
愛泉学園監事	２名
堺女子短期大学特任教授	１名
本校関係者	１名

３．評価・提言

（１）教育活動と確かな学力の育成（教育充実のための取組）

授業や学習指導に関しては、学校の根幹に関わる重要事項と認識し、成果が得られるよう取り組み、特に教育の柱である表現教育・英語教育・マナー教育について追及し、指導にあたっており、教員間に浸透してきていることは評価できる。

個々の学習状況に応じた学習指導では、習熟度別による補習や対策講座など、少人数教育の利点を生かした取組みを行っていることから公立の上位校や私立の難関校への進学実績に繋がっているので今後も継続していただきたい。

挨拶の習慣化では、登下校の挨拶や学校行事での礼儀指導の徹底の達成目標が１００％と高いこともあり、今年度の達成度が７０％と目標に届きませんでしたが、来客者や私たちにも進んで挨拶ができており、非常に好感が持てます。

（２）学校としての組織的な対応

教育活動の対外的報告では、月２回発行のリベラルボイスで学校の様子をタイムリーに報じる取り組みを行っていますが、学校からの一方的な配信になりがちであるとの事なので、一方的にならない対策を考える必要があると思います。

子ども安全連絡網による学校連絡を実施していますが、受け取りの確認ができなかったり、メールが届かないなど問題点もあるとの事なので改善していただきたい。

（３）教員人材育成

模擬授業の実施と評価では、各先生が模擬授業をして相互評価はされているが、補習や生徒対応等忙しく、実施回数が十分ではないので、今後の課題としていただきたい。

教員研修の実施では、人権研修で携帯電話についての講演・研修会を実施していますが、根本的な解決方法を見いだせていないとの事なので、保護者の協力を得て解決できる方法を検討していただきたい。防犯対策では、危機管理マニュアルを把握して更なる充実を図る等、危機管理に対する意識は高いので、今後はより実践的な対応ができる取組みも検討していただきたい。